

平成 29 年度 デイサービスセンターかがみいし

事業報告書

1. 事業運営の概況

4 月には 80% 台だった稼働率が、利用者様の入院・施設入所等の理由により徐々に減少し、3 月には 50% 台までに減少してしまっただ。また利用人数に変化はないが、介護予防・事業対象者が増え 50% 以上になった。利用日数の制限もあり稼働率にも影響が出てきている。平成 29 年度の年間延べ利用者数は 1,983 人、年間稼働率は 64% と低迷してしまっただ。

2. 事業計画の実施状況

(1) 職員資質の向上について

① 各種研修会等への参加

各種研修会や講習会など、外部研修への参加は充分とはいえないが、デイサービス連絡会等で、情報交換・意見交換に努めた。内部研修についてはスケジュール目標を作成し、項目ごとに研修を行った。

② チームケアの確立

月 1 回の定期ミーティングを開催し、伝達事項を周知した。また、利用者様のケース検討を必要に応じて実施し、統一した意識でのサービス提供に努めた。

平成 29 年度に行った内部研修、行事については、以下の通り。

	内部研修	行事
4 月	ケース検討(防災について)	お花見(富士見台)
5 月	ケース検討(認知症センター方式について)	中央公園 ばら見学
6 月	ケース検討(プライバシー保護について)	昼食会(バイキング)
7 月	ケース検討(接遇について)	七夕・手作りおやつ(お好み焼き)
8 月	ケース検討(プライバシーマニュアル)	手作りおやつ(たこ焼き)
9 月	ケース検討(高齢者虐待防止法について事例検討)	手作りおやつ(スイーツ)
10 月	ケース検討(労働災害・自己評価)	福祉展見学
11 月	ケース検討(総合防災について)	焼き芋会・三日市浅間神社 菊展
12 月	ケース検討(感染症について)	クリスマス会
1 月	ケース検討(コミュニケーション)	庭園散歩
2 月	ケース検討(レビー小体型認知症)	節分会
3 月	ケース検討(社会福祉法人について)	梅花見

(2) 地域との連携強化について

① 地域行事への参加

利用者様と共に、積極的に地域行事に足を運び、利用者様の社会参加を推進した。その事で地域社会への認知度も向上し、地域に根付いた施設としての前進となった。

② 地域への積極的な情報発信

広報誌の有効活用や民協冒頭への出席等により、施設内の様子やサービス内容について情報発信した。また、運営推進会議(8月・2月開催)には、利用者様のご家族の他、地元の町内会長、民生委員の方々にも出席していただき、情報を発信するとともに、意見も伺うことができた。

③ ボランティアの充実

各種ボランティアの来所があり、利用者様に喜んでいただいた。ボランティアとして来所された方々からも好評をいただき、相互の友好的な関係を築くことができた。

(3) 非常災害時対策について

① 総合防災訓練への参加

総合防災訓練に参加し、職員・利用者様が共に、災害時対応の再確認、防災意識の高揚に努めた。

② 防災訓練の実施

今年度は地震を想定した防災訓練を2回実施した。

③ マニュアルの見直し

ミーティング等を活用することで、随時見直しを行った。また、全職員への周知と理解を図り、適切な対応に努めた。

(4) 和める時間・空間作りについて

① 庭の手入れ

かがみいし所属の業務員により、芝生や庭木の手入れを行い、利用者様及び職員の心を和ませることができた。

② 畑の活用

春に植えたサツマイモを、秋には収穫し、焼き芋にして利用者様に召し上がっていただいた。夏にはモロヘイヤ・冬にはキウイを収穫し、利用者様に提供し楽しんでいただいた。

③ レクリエーションの工夫

昨年度から継続し、カレンダー作りを行った。その他にも福祉展出品を目標として、手芸作品を主に作成した。